

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No. 138 平成22年7月25日

発行 社会福祉法人 武蔵野会

本部 東京都八王子市台町1-19-3 TEL042(623)8509

<http://www.musashinokai.jp/>

特集 平成21年度事業報告



「アロマ活動」（八王子生活実習所）

ト ー ク 大志

かつて、クラーク博士が若い人たちに呼びかけた「少年よ大志を抱け」という言葉や、立身出世主義の香りがして少しアナクロな「青雲の志」という言葉がありました。多くの若者は大志を抱き、それが特権とも目されていました。しかし昨今の若者は現実主義者が増えたのか、社会全体に不透明感や閉塞感があつて大志を抱きづらいのか、若者イコール大志という図式はあまり当てはまらなくなっています。

そのような中、先日のサッカーワールドカップ南アフリカ大会での日本チームの活躍は、「大志」を抱いていたことその快挙ではなかつたかという気がするのは、私だけでしょうか。

アジア予選をやつと通過した段階での、本番大会では「ベスト4」を狙うという監督以下の発言は、その後の負け続きの強化試合の状況もあり、国民の多くが苦笑していました。ところが、本番大会での一転した活躍ぶりは、国民を熱狂させ、惜しくも8強には到達しなかったものの、4強も含め、十分に可能性はあつたと思わせるに至りました。個々の選手の思いと組織力が不可能を可能に変えたのです。

法人の新人職員採用試験の際の作文や面接で、「障害者差別のない社会をつくりたい」とか、「すべての人が平等な社会の実現を目指したい」など、日常業務の先に見据えた自分の目標を掲げる受験者が時々います。

このような目標は、いわばその人にとつての大志といえるのですが、日本サッカーチームのように、職員、施設、法人が一体となつて、必ず実現に近づきたいと決意を新たにしているこの頃です

平成21年度社会福祉法人武藏野会 事業報告書（抜粋）

運営全般

武藏野会の理念「自分を愛する
ように、あなたの隣人を愛せよ」

ように、法人21年度においても、
理解と実践を、職員研修の基本
に据え、法人21年度においても、
支援を必要とする方々への直接的
な支援を中心に、その方々を取り
巻く人的環境、地域的環境、制度
的環境などに働きかけ、より質の
高い福祉サービスの提供を、中期
計画に沿つて実践した。

新しい事業としては、4月に小
平福祉園の運営、7月に、世田谷
区に法人で4つ目の知的障害者グ
ループホームである、からすやま
ホームの運営、22年1月には、千
代田区立障害者福祉センターの運
営を開始した。開設準備には、多
くの人と時間を費やしたが、役職
や中堅職員の異動、職員の採用、
行政をはじめとする関係者との調
整も課題は残しながらも全体とし
ては順調だった。新規事業の運営
により、常時の利用者が1455

人、職員は常勤、非常勤合わせて
858人となつた。

21年度は、第二期中期計画の初
年であり、昨年度までの法人内委
員会を縮小し、課題別のプロジェクト
を10チーム立ち上げ、課題を
確実に実践する体制をとつた。そ
れぞのチームが成果を挙げた
が、特に進捗が顕著だったのが成
年後見制度の推進であり、3カ年
目標であった、一般社団法人成年
後見センター「みんなの力」を、
多くの人に働きかけて、初年度に
立ち上げることができた。このこ
とは、日本福祉大学の提携法人サ
ミットで発表し、全国にある提携
法人に大きな反響を与えた。ま
た、昨年度からの継続課題の虐待
防止等の人権擁護について、ガイ
ドラインやマニュアルの作成、各
施設での委員会設置、人権セミ
ナーの実施など着実に実行した。
さらに、厚生労働省科学研究のH
IV研究で法人が分担している長
期療養者の福祉施設利用に関する

研究についても、法人内外の数多
くの福祉従事者へのアンケートを
実施・分析し、中間報告書を提出
した。

福祉サービス第三者評価は、6
年連続の受審となり、20年度にB
評価が複数あり、課題が多かつた
2施設は、東京都への改善報告だ
けでなく、法人本部で理事長に具
体的な改善計画を明示し、その計
画に沿つて改善した結果、21年度
はB評価がなくなつた。その他の
施設においても、運営の改善は、
施設長の自覚に負うところが多い
ため、施設長研修に力を入れた。
まず、施設長の多面的な職員評価
を実施し、施設長が、管理者とし
ての客観的評価を自覚し、率先し
て自己啓発する機会とした。ま
た、社会福祉法人の使命を施設長
が自らが再認識し、伝えていくこ
とで、職員が社会福祉法人で働く
意義を自覚し、意欲の継続を推進
するために、ドラッカーの「非営
利組織の経営」を課題図書とし、
施設長全員が提出したレポートを
元に研修を実施した。さらに、全
施設長の理事長面接を実施し、各
施設の中長期目標の確認や法人運
営に関する意見交換等を行つた。

むさしの
武藏野

戦後65年

夏が近づいてきますと

必ず想い浮かべるのが原爆です。

私は長崎出身ですので8月9日は
特別な日です。それは小学5年の
時の女性担任教師は被爆者でした。
また友だちのお母さんも被爆
者でした。

担任教師は疲れが出たり、私た
ちが悪戯して先生を困らせる必
ず眼球に出血斑が出て、隣の教室
の男性先生から私たちをよく叱ら
れました。また友だちのお母さん
は無理をすると、とたんに寝込
んでいました。高校の時の社会科の
先生は原爆を製造していた科学者
の息子を教えたことがあり、その
科学者は製作中に実験失敗して亡
くなつたと言つていました。その
科学者が成功しなくて良かったと
想いました。後世まで最も多くを
人々を殺害した日本の科学者とし
て名をのこすことになつたかもし
れませんでした。

広島では約14万人、長崎では約
7万人が一瞬にして被爆死してい
ます。それまでの歴史の中で戦争
は繰り返し行われ、戦争が無かつ
た時代は無いでしょう。その度に
兵器が開発され、最終兵器として

法人の危機管理としては、理念実践を共通の土台として、運営の平準化や危機対応マニュアルの作成を手がけたが、21年度は新型インフルエンザの流行により、東京都や福祉保健局、各市町村などの対応指針を包含した、法人としての対応マニュアルを作成した。法人本部を対策本部とし、各施設の感染予防対策の統一や各施設の感染状況をタイムリーに把握することで、利用者支援や家族対応などで、施設運営に大きな混乱はなかつた。

◎苦情解決と権利擁護

苦情解決は各事業所、各地区毎のオンブズマンが、定期的な委員会や施設訪問を継続して実施している。各施設に設置してある投書箱の利用や、利用者の希望により面接するなどの工夫をしながら対応した。21年度は、プロジェクトチームが苦情解決システムを見直し、図にして各施設に配布した。本部が対応した苦情は、施設利用に関するものが1件あつた。繰り返すことの無いよう、職員の対応について検証し改善した。各施設毎の苦情に関しては、施設長会で

共有し、全施設で振り返る機会とした。

権利擁護に関しては、虐待防止、抑制の制限、人権研修などプロジェクトチームが着実に成果を上げた。特に、山本譲司氏や野沢和弘氏などを招いた人権研修を、法人セミナーや地区研修として行う等、講師との繋がりができ、繰り返し行うことで職員のみならず一般の方々への人権意識の向上に繋がつた。

◎人材育成と人事システム

各施設、各地区で理念研修を継続して実施した。昨年度まで、施設長を中心理念や行動規範を部下に伝えたが、21年度は、行動規範のそれぞれに関する事例を、役職が施設用に書き直し、研修に活用した。また、地区での研修が定着し、理念研修以外にも定期的な研修を実施し、それぞれ参加者アンケートを回収し、その効果を記録に残した。

島での研修で配布した冊子をふまえて、フォローアップ研修を経て、1年のまとめを行う。自分で1年の成長を振り返るとともに、次年度の新人のためにアドバイスを残した。

人事考課制度は定着し、新採用者に地区や施設での説明を行うことができている。しかし、目標管理の効果や考課ポイントの付け方に課題があがり、人事制度委員会で検討し、規程を変更した。また、「声かけノート」の利用については、人材育成に効果を見せていて、人材育成に効果を見せている施設と、全く活用できていない施設にわかった。責任をもつた人事考課には、「声かけノート」の利用が必要なため、大きな課題を残した。

人材育成の要の施設長は、職員による多面評価や図書研修の提出レポートなどで、研修したが、人材育成への取り組みが弱い施設は多面評価でも低くなるため、施設を基に、管理職が実施できるよう一部実施の予定だったが、十分に

機能しなかつた。新人研修は、大島での研修で配布した冊子をふまえて、フォローアップ研修を経て、1年のまとめを行う。自分で1年の成長を振り返るとともに、次年度の新人のためにアドバイスを残した。

なぜに2発も日本に落したか、真実が明かされることは無いでしょう。色々なことが言われても被爆者は一般人が大半であったことは紛れもない事実です。唯そこに軍事施設があつただけで、それも生産力は大幅に落ちて兵器を作る原材料が無く末期状態ででした。

戦争を早く終わらせるためとは言つてもそれは後から付けた米国では大浦天主堂の上空で爆発してそのマリア像は悲しい表情をしています。同じ宗教の方々が最も大切にしている心の拠り所の教会を破壊したことはあまり米国内では報せてないようです。

戦後65年が経とうとしています。日本しか経験したことないことを日本人として世界中に知らしめて行く責任があります。今年もまたあの忘れられない夏がやります。一人でも多くの方にこのことを話していきたいと想っています。

貸借対照表

平成22年3月31日 現在

法 人 名 社会福祉法人武藏野会

資産の部		負債の部	
	金額		金額
流动資産	1,701,263,156	流动负债	315,154,466
現金預金	1,108,689,935	未払金	260,004,717
売掛金	4,445,203	積り金	54,843,029
未収金	507,687,771	前受金	200,000
立替金	9,124,908	仮受金	45,820
前払金	11,079,159	固定負債	334,685,550
返払金	236,000	長期設備資金借入金	80,000,000
同定資産	4,534,033,805	送致給付引当金	254,685,550
基本財産	2,845,968,282	純資産の部	
建物	2,097,828,808	正 本 金	648,522,735
土地	248,189,924	基 本 金	648,522,735
その他の固定資産	2,188,070,573	国庫補助金等特別積立金	1,282,114,726
建物	90,402,919	国庫補助金等特別積立金	1,282,114,726
構築物	62,729,964	その他の積立金	1,515,498,568
機械及び装置	9,814,602	その他の積立金	555,009,004
車両運搬具	40,048,508	人件費積立金	205,741,000
器具及び備品	175,726,081	移行時特別積立金	114,840,000
土 地	10,792,418	施設整備等積立金	581,803,030
その他の有形同定資産	4,149,243	施設運営費積立金	58,105,534
権 利	76,440		
収益事業会計元入金	7,875,000		
施設整備特別積立金	108,277,858		
その他の積立預金	555,009,004		
人件費積立金	122,000,000		
移行時特別積立預金	114,840,000		
施設整備等積立預金	504,518,080	次期繰越活動収支差額	2,144,820,916
施設運営費積立預金	50,858,676	次期繰越活動収支差額	2,144,820,916
その他の同定資産(従事者共済)	254,685,550	(うち当期活動収支差額)	762,116,998
その他の同定資産	7,276,250	純資産の部合計	5,585,456,945
資産の部合計	6,235,290,961	負債・純財産合計	6,235,290,961

資金収支決算内訳表

(自) 平成21年4月1日 (至) 平成23年3月

法人名 社会福祉法人武藏野会

予定科目		決算額	予定科目		決算額
被 介 護 者 支 給 金	被介護者事業収入計	63,522,956		水道光熱費	19,154,551
	被介護者事業支出計	61,670,080		燃料費	2,721,495
	被介護者事業収支差額	1,852,926		修繕費	142,361,067
	介護保険収入	404,964,130		通信運搬費	15,806,341
	介護福祉施設収入	299,365,199		会議費	673,324
	在宅介護料収入	51,260,976		旅費	5,089,490
	短期入所介護料収入	42,845,397		業務委託費	570,451,136
	居宅介護事業収入	10,861,842		手数料	51,397,260
	短期子防介護料収入	335,133		損害保険料	10,938,873
	居宅子防介護支援事業収入	286,583		賃借料	65,673,659
	自立支援費等収入	2,519,389,708		和菓公課	3,609,592
	介護給付費収入	1,763,800,112		旅費	101,613,546
	訓練等給付費収入	315,955,377		事業費支出	605,361,799
	障害児就学給付費収入	109,602,230		給食費	248,113,424
	特定障害者給付費収入	86,043,301		保育衛生費	19,377,159
	利用者負担金収入	804,058,685		被服費	13,987,770
	補助事業収入	265,455,796		飲食娛樂費	36,473,581
	補助事業収入	74,149,183		口用品費	23,819,007
	受託事業収入	154,760,397		本人支給金	30,464,841
	利用者負担金収入	10,461,627		光熱水費	143,633,696
	その他の補助金収入	26,078,589		燃料費	21,039,381
	利用料収入	78,931,026		消耗品費	14,620,061
	利用料収入	1,450,600		器具什器費	16,130,458
	利用者負担金収入	5,205,000		指導監視費	778,794
	介護福祉施設利用料収入	59,786,494		賃料	1,312,725
	在宅介護利用料収入	5,445,877		教育指導費	29,095,479
	短期入所介護利用料収入	7,043,066		就職支援費	424,841
	講習費収入	169,610,362		医療費	113,840
	事務費収入	134,928,633		修繕費	3,618,917
	事業費収入	34,681,719		雜費	1,814,406
	受託事業収入	919,504,169		利用者負担額	643,330
	私的契約利用収入	42,650		借入金利息支出	1,438,750
	通常経費補助金収入	1,500,448,543		会計単位間繰入金支出	19,971,866
	寄付金収入	18,900,297		会計基準改訂繰入金支出	12,654,995
	雑収入	63,755,483		就労支援会計繰入金支出	2,872,337
	借入金利息補助金収入	1,438,760		特別会計繰入金支出	4,444,534
	受取利息相当金収入	1,497,590		経理区分間繰入金支出	183,438,947
	会計単位間繰入金収入	72,637,143		経常支出計	5,112,403,876
	特別事業会計繰入金収入	56,609,811		経常(福祉)活動資金収支差額	787,611,308
	就労支援施設会計繰入金収入	12,654,995		収入 施設整備等補助金収入	62,033,022
	収益事業会計繰入金収入	3,372,337		収入 施設整備等返入計	62,033,022
	経理区分間繰入金収入	183,438,947		固定資産取得支出	135,889,717
	経常収入計	6,200,015,184		建物取得支出(草木)	20,811,815
	人件費支出	3,517,871,231		車両運搬具取得支出	20,903,752
	被服費	7,200,000		器具及び精査品取得支出	62,835,698
	職員俸給	1,098,154,524		土地取得支出(固定)	16,622,157
	職員俸手当	895,052,574		建設販売定取得支出	14,716,800
	非常勤給与	599,805,397		施設整備等支出手計	135,889,717
	訓練其賃津金	29,412,600		施設整備等資金支出手額	△ 73,856,695
	法定福利費	386,599,336		積立預金取崩收入	11,445,000
	その他の人件費	1,646,800		財務収入計	11,445,000
	事務費支出	1,084,321,283		借入金元金償還金支出	12,500,000
	福利厚生費	19,299,760		積立預金積立支出	172,000,000
	旅費交通費	14,490,368		財務支出計	484,500,000
	研修費	9,071,540		財務活動資金収支差額	△ 473,055,000
	消耗品費	21,767,296		当期資金取支差額合計	242,552,539
	器具什器費	15,842,897			
	印刷墨本費	14,095,785			
				当期末支払資金残高	1,143,556,151
				当期末支払資金残高	1,386,108,690

ニュース ラウンジ

20年以上の勤続者が16名

永年勤続表彰式

昨年度の永年勤続表彰は、新型インフルエンザを懸念し、7月に入つての実施となりましたが、今年度は例年どおり、法人の設立である6月の16日に、京王プラザホテル八王子で行いました。

今年度、表彰されたのは総勢で27人。勤続30年が5人、20年が11人、10年が11人で、20年以上勤続している職員が多くたのが、今年の特徴です。また、その中に施設長が6人いたことも例年にないことです。

式は、上野理事長の挨拶で始まり、全員への表彰状の授与の後、勤続30年の武藏野児童学園の、森ますみさんが、謝辞を行いました。各施設の家族会からは13人が参加され、お一人ずつ自己紹介を

頂くとともに、職員へお祝いの言葉をいただきました。法人からは、村山理事をはじめ、全施設長、本部職員が参加しました。

後援会長の石谷暢治さんから、お祝いのお言葉と乾杯のご発声を頂いた後、参加者は食事をしながら交流のひとときを持つことができました。

夕方の4時から6時までという短い時間ではありましたが、これから武藏野会を背負っていく永年勤続の職員達にとって、気持ちを新たにした時であつたと思いま



総勢27名。気持ちを新たに、次なる一歩を踏み出して欲しいと思います。

メダ力の飼育から 癒しとリラックス

北町福祉作業

北町福祉作業所では昨年8月から所内でメダ力の飼育を開始。玄関には30匹の色とりどりのメダ力が泳ぐ大きな水槽と、つまようじの先ほどのメダ力の稚魚がひらひらと泳ぐ育成用の小さな水槽があります。稚魚は作業所での産卵かかり孵化した2世です。

えさやり当番のSさんが「おなかすいたね。たくさん食べてね」と話しかけながら水槽に顔を近づけると、すでにメダ力たちは水面に集まっています。ひとつまみの顆粒状のえさが水面にぱつと拡がり、メダ力たちが一斉に食べ始めると、それを間近で見ているSさんの笑顔もはじけます。

動物たちとのふれあいにより心の癒しやリラックス効果を得ようとする試みをアニマルセラピーといいますが、NPO法人JSE推進協議会の「めだかを照らす俱楽部」では、昨年6月より都内12ヶ所の福祉施設や病院と協働し、メダ力の飼育を通じたアニマルセラピーを取り組んでいます。

大島恵の園

障害者就労訓練設備等整備事業を活用して、9人乗りの車両と電気炉、循環式粘土再生機を購入しました。これらの機器を使って、日中活動の活性化につなげ、製品や作品を作つていきたいと思います。

東堀切くすのき園

これまで年2回だった宿泊旅行を今年度は7回に増やし、1回あたりの人数を小集団とする方法に変更しました。旅行中も施設はオーブンしているので、不参加の方も平常通り施設の利用が可能となります。

世田谷区立世田谷福祉作業所
自主生産部門の「クッキー」「パウンドケーキ」に加え、濃厚でありながら後味さっぱりの「チーズケーキ」の開発と試作販売をはじめています。夏に向けては「爽やかオレンジチーズケーキ」と、季節ごとの限定商品の開発にも取り組んでいます。

八王子福祉作業所
八王子の上恩方町に「タやけ小やけふれあいの里」という農村体験型レク施設があります。今年から野外の清掃作業を受注しました。自然いっぱいのなかでの清掃は気持ちのいいのですが、秋から気温が下がります。そこで、落ち葉シーズンが今から始まります。



当法人では、武藏野児童学園

九品仏生活実習所、そして当作業所の3施設で飼育を始めました。

可愛らしいメダ力たちの姿に心

がホツと癒されたり、飼育を通じてメダ力たちから喜びや驚きを得ることで、利用者間のコミュニケーションが豊かになるなどのう

れしい変化が生まれています。小さな仲間たちの今後が楽しみです。



利用者が交代でえさやりや水槽掃除。生き物を育てるのは大変な作業ですが、喜びもひとしおです

*「めだか照らす俱楽部」から戴いたメダカは野生の黒メダカではなく、改良メダカの青メダカ、白メダカ、朱赤の楊貴妃、お腹が出て丸々としたダルマメダカなど色とりどりで可愛らしく、見ていて楽しいメダ力たちです。

「支援実践集」 発行にあたって

(理事長の前書きから抜粋)

社会福祉施設で働く職員にとり返り、考察を重ねるとともに自己啓発を続け、利用者のより深い理解に基づく支援の向上につなげていくことは、大変重要なことです。

武藏野会では、2009年度を初年度とする「第2期中期計画」

において、法人理念に基づいた支援体制の確立、権利擁護、利用者の貢献などを課題とする数々の事業を掲げ、法人及び施設のほか、職員の個別目標まで一体となつて取り組んでいます。

そのような意味で、毎年発行しているこの支援実践集は、武藏野会職員にとって支援向上のため全施設で情報を共有し、日々の職務に貴重なヒントを得る実践版の「支援・介護の基本ブック」であり、外部の方には武藏野会の支援の現状を知つていただく率直な

情報公開誌であると言えます。

今回は、法人23施設のうち、2010年1月開設の千代田区立障害者福祉センターを除く22施設から23編の実践報告が寄せられました。

前回に続いて今回も、理事長、法人役員（監事）本部長（理事）の3人が、すべての報告を精査して

先駆性、有用性、合理性、理念性、表現力の観点から総合的に評価し、特に優れていると思われるもの、最優秀1編、優秀4編を次のように選びました。

最優秀 西水元あやめ園 「経口摂取へのアプローチ」

- 優秀 ハ王子生活実習所
「重症心身障害者プログラムの導入に向けて」
- 優秀 練馬福祉園
「地域に根ざした日中活動の取り組みについて」
- 優秀 武藏野児童学園
「児童養護施設における知的障害児の支援」
- 優秀 練馬福祉園
「Aさんの支援を通して
～ターミナルケアの実践～」

練馬区立大泉町福祉

指定管理委託時のプレゼンテーションでも提案していた屋上緑化

工事が終わり、約五十坪の高麗芝のじゅうたんが完成しました。自動灌水装置も備え付けられており、水やりの心配も無用です。次は手作りの壁面緑化でさらなる省エネに挑戦します。

白鳥福祉館

3名の方が入所され、現員50名になりました。また、40代以上の方が11名（22%）となり、本人を中心の支援から、家族状況を考慮した家族支援の必要性がさらに高まっています。授産では、7月から9月、販売会参加に合わせ、自主生産部門はフル操業が続きます。

希望の里

今年度発足した利用者自治会は、まず、グループ活動（日帰り外出活動）のコース分けを検討し、7月から一泊旅行計画の進め方の検討しています。多くの行事で皆さんの意見を反映できるよう自治会を支援します。

世田谷区立駒沢生活実習所

5月から一泊旅行が始まりました。今年から4～6名の少人数で出掛け、グループ毎に計画を立てます。郷土料理を食べたり、おしゃれなカフェに寄り道しながら旅の醍醐味を体験しています。

お知らせコーナー

7月

- 12日 故人を偲ぶ会（西水元あやめ園）
- 17日 きらきら北町夏祭り2010
（北町福祉作業所）
- 18日 くすのき祭り
（東堀切くすのき園）
- 24日 納涼祭
（西水元あやめ園）
夏祭り
（小平福祉園）
- 25日 お茶巻まつり
（白鳥福祉館）
- 28・30日 陶芸教室
（駒沢生活実習所）
- 31日 八王子地区法人夏祭り
（小平福祉園）

8月

- 7日 夕涼み会
（すずな愛育園）
八王子市心身障害者福祉センター）
- 19・20日 施設公開
（烏山福祉作業所）
- 28日 サマーフェスタ
（武藏野児童学園）
世田谷地区合同事例実践報告会

9月

- 4日 希望の里祭り
（希望の里）
地区まつり
（大島恵の園、第2大島恵の園）
- 11日 きね川GENKIまつり
（きね川福祉作業所）
- 19・26日 敬老会（西水元あやめ園）
- 20日 武藏野会セミナー

オリジナルの陶芸作品が好評です。
徐々に大物に挑戦しています。



手漉き和紙のぬくもりが溢れる、団扇やコースターが仕上がりました。

武藏野会後援会

社会福祉法人武藏野会が経営する23施設と4つのグループホームの利用者のためにより良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武藏野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3

電話・FAX 042-626-9772

児童養護施設は夏休み40日間、子どもたちの過ごし方に職員は苦慮しています。

八王子市社会福祉協議会の「ブル招待」、ニッセイ文化振興財団から「日生劇場 国際ファミリー・フェスティバル2010」のミュージカル人形劇などの招待、サッカー観戦、野球教室など。この期間にいろいろなご招待がたくさんあつて大変感謝しています。

小平福祉園は、昨年度まで外部講師や活動専任職員を中心に日中活動を実施していましたが、今年度からは生活棟職員で手作りの活動を進めています。

陶芸では皿やコップ、利用者が

児童養護施設は夏休み40日間、子どもたちの過ごし方に職員は苦慮しています。

八王子市社会福祉協議会の「ブル招待」、ニッセイ文化振興財団から「日生劇場 国際ファミリー・フェスティバル2010」のミュージカル人形劇などの招待、サッカー観戦、野球教室など。この期間にいろいろなご招待がたくさんあつて大変感謝しています。

ショーケース

自主生産品紹介

小平福祉園 の巻

住所
〒187-0004
東京都小平市天神町2-10-2
電話 042-344-2822

作った人形の形を大切にしながら職員がアレンジした作品が親しまれています。今後は大きい丼や抹茶茶碗にも挑戦します。手芸では利用者がほぐした糸を利用しての大人形、コースターは全て利用者が通してくれた木エビーズを形にしています。紙漉きと園芸は今年度から立ち上げました。紙のぬくもり溢れるコースターや葉書に加え夏祭りに向けて団扇の制作に取り組んでいます。



同じ物が二つと仕上がらないことが、ベテランにも応えられない陶芸の楽しみです。

り組む紙漉き。多摩の美味しい空気と土の香りに包まれながら植物の成長に感動し作物の収穫に親しむ園芸は、雨の日も暑い日も活動を続けています。玄関には利用者が育てた季節の花が地域の方も優しく見守っています。